

おいしさを笑顔に

KIRIN

ハーモニア

HARMONIA



キリンホールディングス株式会社
第175期
中間株主通信

2013年1月1日から2013年6月30日まで



「がんばれ! SAMURAI BLUE」

2013.5.30 キリンチャレンジカップ2013
ブルガリア代表戦 先発メンバー ©J.LEAGUE PHOTOS



KIRIN



キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長

三宅 占二

「ブランドを基軸とした経営」を確立・展開し 国内外での競争力強化を図ります。

新体制の下、グループ連携を強化し、 長期的視点からブランド強化を図る

当第2四半期のわが国経済は、世界経済全体が緩やかな成長を維持するなか、輸出環境の改善や経済対策の効果などによって景気が着実に持ち直しており、個人消費も底堅さを増しつつあります。

キリングroupは新たな長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2021」(略称:KV2021)の最初のステージである「キリングroup2013年

-2015年中期経営計画」の初年度として、2013年には、経営の方向性を自律的成長にシフトさせると共に、持続可能な競争優位の源となる「ブランドを基軸とした経営」の確立・展開に取り組んでいます。

日本総合飲料事業においては、2013年1月にキリン株式会社を設立し、5月には国内グループ会社の本社組織を東京・中野の新グループ本社に集約させました(P7参照)。この新体制の下、グループ一体となってさらなる連携強化を図り、長期的視点に立ったブランドの育成に取り組ん

キリングroup 2013年-2015年中期経営計画

基本方針

キリングroupの「ブランドを基軸とした経営」の確立・展開
海外での事業展開地域それぞれの成長性に応じた成果の創出
国内総合飲料事業再成長に向けた競争力強化と強いブランドの育成

定量目標

EBITDA*：年平均1桁台半ば(%)の成長
1株当たり利益*：年平均1桁台後半(%)の成長

* 特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整をしております。

でいます。キリンビール社では、ビールの新しい飲用スタイルの提案やコンセプトショップの展開によって基盤ブランドの強化を図りました。ビール・発泡酒・新ジャンル合計の販売数量は前年を下回ったものの、伸張する新ジャンルやRTD*カテゴリーの販売数量は新商品を投入したことなどにより、前年を上回りました。メルシャン社は、輸入ワインを中心に市場が伸張するなかで、重点ブランドの販売数量がいずれも前年を上回りました。キリンビバレッジ社は、無糖紅茶の販売好調などによって前年を超える販売数量を達成しました。各社とも引き続き製造面での効率性向上やコスト削減に取り組む一方、ブランド力強化に向けた積極的な販売促進を行いました。

※ Ready to Drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料。

主に海外総合飲料事業と 医薬事業の伸張により増収増益に

海外総合飲料事業においては、豪州経済の減速基調が続くなか、ライオン社の酒類事業で商品構成の見直しや成長カテゴリーでの販売強化を進めた結果、販売数量は前年を大きく上回りました。飲料事業は、競争激化などによって販売数量が前年を下回りましたが、引き続き商品の差異化や構造改革に取り組みました。ブラジルでは経済成長のペースが緩やかになり、個人消費にやや減速感が見られました。こうしたなか、ブラジルキリン社は、基盤ブランド強化やブラジル全土でのお客様接点の拡大に取り組み、販売数量はビール・飲料とも前年を上回りました。また、調達プロセスの改善をはじめとしたバリューチェーン全体での効率化を進めると共

に、家庭用需要の拡大に対応するための設備増強を図りました。

医薬事業では、国内で花粉症の抗アレルギー剤の販売が好調だったほか、海外でも販売が堅調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結売上高、営業利益および経常利益は、主に海外総合飲料事業と医薬事業の販売伸張によって増加しました。また、四半期純利益についても、シンガポールのフレイザー・アンド・ニーヴ社の株式譲渡に伴う投資有価証券売却益の計上などにより大幅に増加しました。

なお、株主還元のためさらなる充実を図るために3月に開始した自己株式の取得は、6月末時点で取得株式総数が1,591万株、取得総額が258億円となりました。

当第2四半期の業績と通期業績予想

	当第2四半期		2013年業績予想 ^{※2}	
	実績	前年同期比	予想値	前期比
連結売上高	1兆962億円	+5.2%	2兆2,800億円	+4.3%
連結営業利益	604億円	+5.6%	1,500億円	△2.0%
連結経常利益	557億円	+12.6%	1,320億円	△4.7%
連結(四半期)純利益	596億円	+355.2%	900億円	+60.1%
(参考)				
EBITDA ^{※1}	1,388億円	+4.9%	3,140億円	+2.2%
1株当たり利益 ^{※1}	51円	+13.3%	123円	+5.1%

〈用語解説〉 EBITDA：Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization

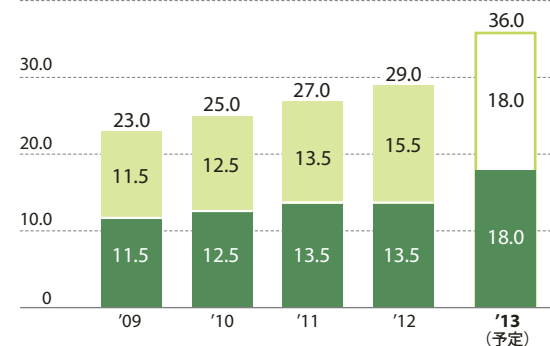
税引き前利益に支払い利息と減価償却費を加算したもので、グローバル企業における金利や税率、会計基準等の違いによる企業の見かけ上の利益格差を抑えるための指標として用いられ、広義のキャッシュフローを意味します。

※1 特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整をしております。

※2 各事業の進捗を加味した結果、通期業績予想を修正しております(8月1日に開示)。

1株当たり配当金

(単位：円) ■ 第2四半期末 ■ 期末
40.0



グループ各社が一体となって お客様と共にブランドの価値を育む

キリングループは、ブランドの価値をお客様と共に創り、育てていく「ブランドを基軸とした経営」の確立を目指しています。そのために当社では、全従業員が「お客様や社会のために何かできるか」を“お客様主語”の発想から徹底的に考え抜き、既存の事業や製品の枠組みを越えた新たなブランド価値の創造に挑戦しています。

キリン 澄みきり

120年以上培ってきた技術と経験を結集し、
飲み飽きないうまさを実現



キリン一番搾り生ビール 麦100%へのこだわり

麦100%にこだわって「すっきり」と「うまみ」を両立した「キリン一番搾り」の技術とノウハウが活かされています。



パッケージは、“KATANA(刀)”をコンセプトに、極力装飾を排し、シンプルで洗練され高級感のある、凛とした佇まいのデザインに仕上げました。

キリンラガービール 伝統のホップの知見

120年以上の歴史をもつ「キリンラガービール」の製造を通じて培ってきたホップの知見を活用し、力強い飲みごたえを実現しました。



麒麟淡麗<生> 大麦のおいしさを 引き出す技術

「麒麟淡麗<生>」で実現した大麦のおいしさを引き出す技術と、雑味を抑えながら麦本来の味を引き出す新酵母を採用しました。



「キリン 澄みきり」は、キリンビールが長年培ってきた技術や経験のすべてを結集して開発した新ジャンルカテゴリーの新商品です。「麦100%※のうまみ」と「雑味のない澄みきった後味」を両立させ、飲み飽きないうまさを実現しました。

※ 麦芽・大麦・大麦スピリッツを使用しています。

キリン一番搾り生ビール



選んで・つくって・
見て楽しい！
ビールの新しい
楽しみ方を提案

一番搾り ツートン(生)

「キリン一番搾り生ビール」
から、泡がシャリッと冷たい
「一番搾り フローズン<生>」
に続く新体験。見た目も味わい
も新しい、カラフルな2層の「一番搾り ツー
トン<生>」を新提案。“選ぶ楽しさ、つくる
楽しさ、視覚に新しいビアカクテル”が、
ビールを飲む喜びと楽しさをまた一つ広げ
ました。



一番搾り ツートン<生>の作り方



1 グラスにリキュール
or ジュースを注ぐ



2 グラスの口に
ツートンメーカー
をセットする



3 ツートンメーカー
の上から一番搾り
を注ぐ



4 泡が立ったら
ツートンメーカーを
はずして少し待つ



5 一番搾りを注ぎ足したら、
完成です！
飲む際は、混ぜて
お楽しみください。



日本で、世界で、新体験！ 「ビールって、おもしろい。」

2013年4月以降、ビールを飲む喜びや
楽しさを体感できる場として、国内・海
外で「一番搾り」ブランドのコンセプト
ショップ「キリン 一番搾り ガーデン
(KIRIN ICHIBAN GARDEN)」*を順次
展開しています。5月からは、台湾、韓国
でオープン。さらに、アメリカ、上海、香
港、台湾、韓国、フランス、ドイツなど
で「一番搾り フローズン<生>」の本格展
開をスタートしました。日本で、世界で、
たくさんのお客様がビールの新しい
楽しさを体験しています。

* 出店期間は各店舗により異なります。



KIRIN ICHIBAN
FROZEN GARDEN TAIPEI



KIRIN ICHIBAN GARDEN SEOUL

キリン カリブーン

南国カリブの 陽気な気分で大好評

2013年5月に発売したRTD「キリン カリブーン グレープフルーツ/パイナップル」は、ホワイラムをベースに南国産フルーツ果汁とソーダを加えたカクテルです。ゆるい雰囲気のリゲエ音楽に合わせて“謎の男”Mr.CRBが登場する広告も話題を呼び、全国各地のイベントでもカリブーンの熱帯旋風を巻き起こしました。



食事に合う紅茶として大好評の「午後の紅茶 おいしい無糖」が、2013年2月にリニューアル発売。ダーズリン茶葉を従来品より1.4倍*使用し、一層さわやかな飲み心地を実現しました。今年は「おにぎり公式飲料」を宣言。紅茶と日本食との相性の良さを伝え、日常生活における無糖紅茶の飲用シーンの拡大を図っています。

*ダーズリン茶葉を70%使用しています。

キリン 午後の紅茶 おいしい無糖

「おにぎり公式飲料」を宣言し、
紅茶の飲用シーンを拡大



キリン 世界のKitchenから ソルティライチ

タイのお母さんの知恵に学んだ、 「塩とフルーツ」の 組み合わせ

タイの家庭でつくられる、塩で下ごしらえした旬の果物を用いた“ローイゲーオ”というデザートをヒントに開発された飲料が「ソルティライチ」です。収穫・搾汁後すぐに凍結させたライチと、ミネラル豊富な沖縄海塩を純水で割り、甘酸っぱく、すっきりとした飲み心地を実現しました。夏の暑い時期には、おいしく熱中症対策ができる飲料として、「塩とフルーツ」の組み合わせに、お客様から高い評価をいただいています。

フランジア スイーティーレッド

多彩なアレンジが楽しめる やさしい甘さの赤ワイン

メルシャンは、17年連続で販売量世界No.1※に輝くワインブランド「フランジア」シリーズに、2013年5月から「スイーティーレッド」を追加しました。この新商品は、華やかな果実香とまろやかな味わいが特長のやや甘口の赤ワインです。軽く冷やして味わうだけでなく、ロックやフラップ、カクテルなど多彩なアレンジが楽しめます。

※ 単一ブランドとして17年連続ワイン販売量世界No.1 (IMPACT DATABANK 2011 EDITIONによる)。



フラップで



ホットで

ロックで



スプリッツァで



カクテルで

国内各社の本社拠点を集約した“中野新本社”が始動

グループ各社の交流・連携を強化し、ブランド価値の向上に挑みます。

2013年5月、国内グループ17社の本社組織が東京・中野の新本社に移転しました。今後、新本社の機能別オフィスレイアウトや多彩な共有スペースを活用しながら、会社の枠を越えた交流・連携を強化。グループの総合力を結集して、ブランド価値の向上を図ります。



Tsudoi

機能別レイアウト

マーケティング、営業、生産などの業務ごとに各社の担当者が机を並べる機能別レイアウトを採用。



Office

共有スペース

各階のフロアの間にある「Tsudoi」、カフェテリア機能をもつ「Nagomi」など、多彩な共有空間を設置。



Nagomi

エントランス

2階総合受付や18階来客エリアの周辺は、商品アーカイブやロゴの展示などブランドを意識したデザインで演出。



Entrance

注目のスポット

お客様との共創型コミュニケーションスペース「ココニワ」

2階総合受付横に設置された「ココニワ」は、グループの過去・現在・未来について体感・体験できるお客様参加型のコミュニケーションスペースです。グループの歩みや商品ブランドにまつわる情報を紹介する展示やイベントスペースなどで構成され、お客様と共に新たな価値を創造する場として展開していきます。



「KIRIN Communication Space ココニワ」概要

- 所在地 ● 東京都中野区中野4-10-2
中野セントラルパークサウス2階
 - アクセス ● JR中央線・総武線、東京メトロ東西線「中野駅」北口より徒歩5分
 - 開館時間 ● 午前9時～午後5時30分
 - 休館日 ● 土・日・祝日および会社休日
 - 入場料 ● 無料
- ※ ガイドなしの自由見学となります。

モンドセレクション2013において 3社の商品が金賞を同時受賞!

世界的な食品・酒類等のコンテストである「モンドセレクション (MONDE SELECTION)」(本部:ベルギー ブリュッセル)。この権威ある食品品評会において、2013年はキリンビール社が製造・販売する「キリンワインカクテル ワインスピリッツァ白」、メルシャン社の「完熟あらごし梅酒 梅まっつい」、キリンビバレッジ社の「キリン メッツ コーラ」がそれぞれ金賞を受賞しました。グループ3社によるモンドセレクション金賞の同時受賞は今回が初となります。



キリンワインカクテル
ワインスピリッツァ白
キリンビール社



キリン メッツ コーラ
キリンビバレッジ社

完熟あらごし梅酒
梅まっつい
メルシャン社



「キリンチャレンジカップ2013」 に特別協賛



「がんばれ! SAMURAI BLUE」

2013.5.30 キリンチャレンジカップ2013
ブルガリア代表戦 先発メンバー ©JLEAGUE PHOTOS

「2014 FIFAワールドカップ ブラジル アジア最終予選」を突破したSAMURAI BLUE。キリンビール社とキリンビバレッジ社は、同チームの強化を目的に9月6日と9月10日に開催される「キリンチャレンジカップ2013」に特別協賛します。

また、キリングループは日本代表支援のみならず、小学生向けサッカー教室「キリンサッカーフィールド」の開催、公益財団法人日本サッカー協会 (JFA) と協働で「JFA ユースプログラム」を展開し、キリンチャレンジカップなどの日本代表戦に子どもたちを招待するなど、未来の日本代表を夢見る子どもたちを応援しています。

キリングループは、これからもすべてのサッカー日本代表チームの強化とサッカー文化の創造に貢献していきたいという想いのもと、様々な活動を展開していきます。

復興応援 キリン絆プロジェクト① 「東北復興・農業トレーニング センタープロジェクト」を支援

キリンビール社は、「復興応援 キリン絆プロジェクト」の一環として、公益社団法人日本フィランソロピー協会の協力の下、「東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト」を支援。プロジェクトを通じて、東北の農業経営者と復興ビジネスの担い手との連携を図りながら、新たな農業ビジネスの創出と地域活性化への貢献を目指します。



農場視察

復興応援 キリン絆プロジェクト② 「JFA・キリン スマイルフィールド」で 子どもたちを笑顔に

キリングループでは、「サッカーを通じて子どもたちに笑顔になってもらいたい」との想いから、日本サッカー協会の協力を得て、2011年～2013年の3年間、岩手、宮城、福島の小学校でサッカー教室「JFA・キリン スマイルフィールド」を開催。2013年7月末までに、456校で実施しました。

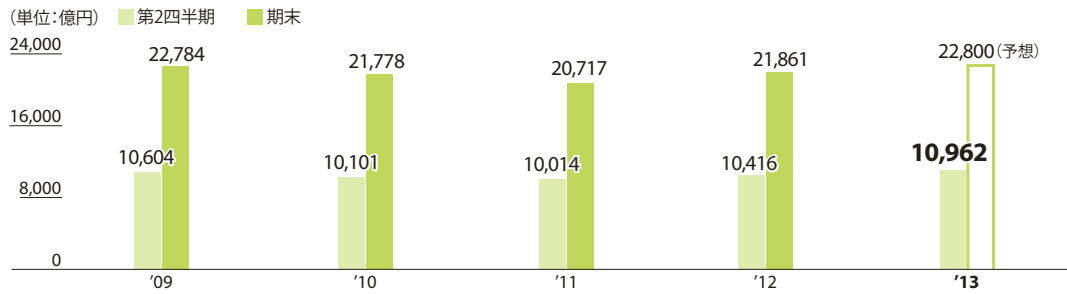


開催校の子どもたち

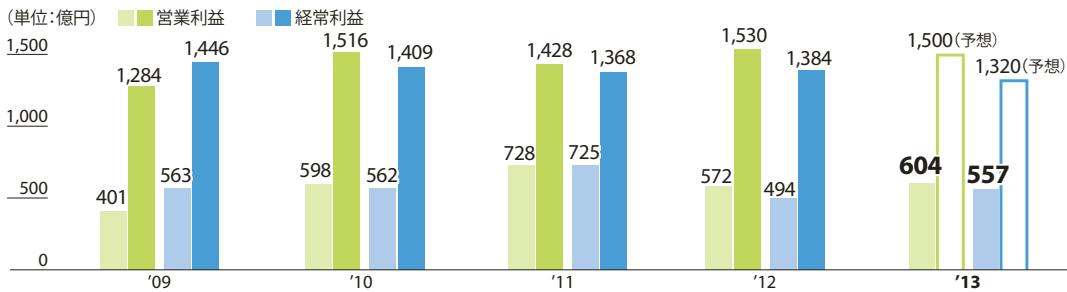
業績ハイライト

当期の財務ハイライト

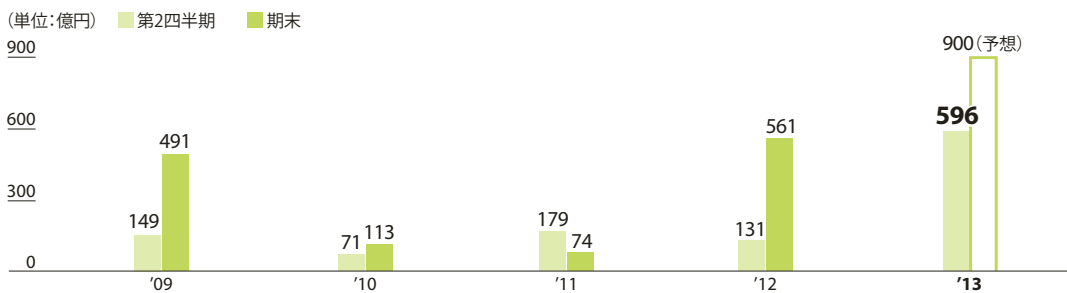
連結売上高



連結営業利益・連結経常利益

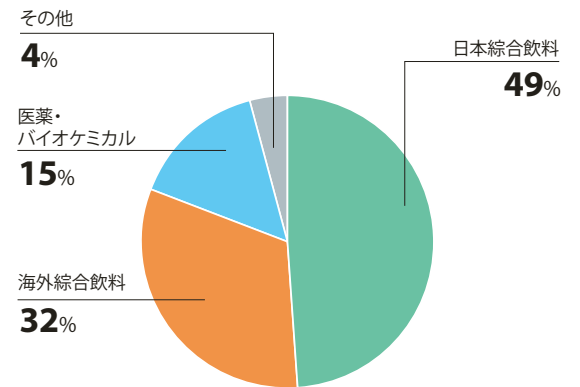


連結四半期純利益



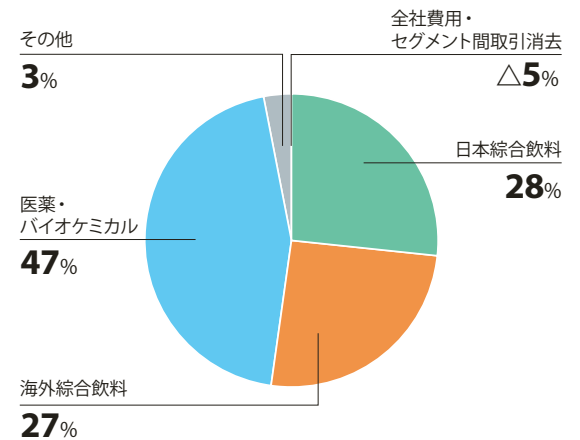
セグメント別の状況

セグメント別売上高



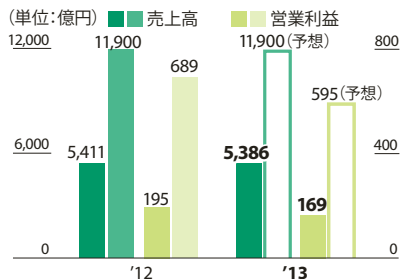
※ 2013年第2四半期の実績

セグメント別営業利益



※ 2013年第2四半期の実績

日本総合飲料事業



売上高
5,386億円
前年対比 △0.5%

営業利益
169億円
前年対比 △13.0%

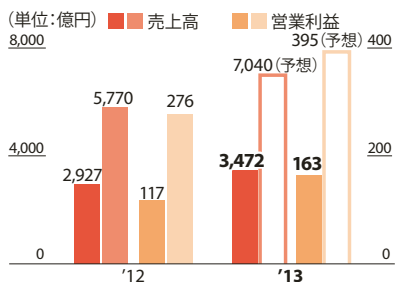
ブランド強化の取り組みを着実に展開

キリンビール社は、「一番搾りフローズン<生>」「一番搾り トーン<生>」といったビールの新しい飲用スタイルの提案に注力すると共に、新ジャンルでは「キリン 澄みきり」を発売し、わずか1週間で100万ケースを販売しました。ビール・発泡酒・新ジャンル合計の販売数量は前年を下回ったものの、新ジャンルならびに「キリン カリブーン」などの新商品を投入したRTDカテゴリーの販売数量は前年を上回りました。メルシャン社では、「フランジア」など重点ブランドの販売数量が前年を上回りましたが、原料高や円安の影響を受け

ました。キリンビバレッジ社では、無糖紅茶を中心とした「キリン 午後の紅茶」ブランドの好調などにより、販売数量は前年を上回りました。また、「キリン 世界のKitchenから ソルティライチ」をリニューアルするなど、新カテゴリーの確立にも取り組みました。

日本総合飲料事業においては、主にキリンビール社における販売数量の減少によって売上高は減少し、中長期的な成長を見据えた各社のブランド強化に向けた先行投資により営業利益も減少しました。

海外総合飲料事業



売上高
3,472億円
前年対比 +18.6%

営業利益
163億円
前年対比 +39.7%

好調な酒類事業が豪州を牽引、ブラジルはブランド力をさらに強化

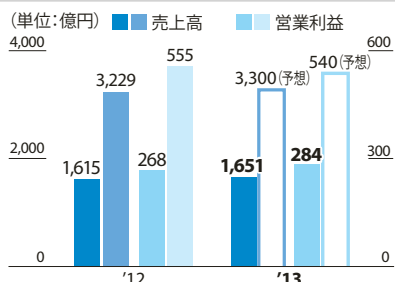
豪州ライオン社の酒類事業は、総需要の減少傾向が続くなか、昨年販売権を取得した「コロナ」などの輸入プレミアムブランドが貢献し、販売数量を大きく伸ばしました。一方、飲料事業は、消費者の低価格志向や競争環境の激化が続くなかで、販売数量が前年を下回りました。

ブラジルキリン社では、ビールの「ノヴァ・スキン」や炭酸飲料の「スキン」を中心とした基盤ブランドの強化や、ブラジル全土においてお客様接点の拡大に向けた施策などを積極的に進めた結果、

ビール、飲料事業とも販売数量が前年を上回りました。

これらの結果、オセアニア総合飲料事業においては、酒類事業の販売数量増加により売上高、営業利益とも増加しました。また、海外その他総合飲料事業においては、ブラジルでの販売数量増加により売上高は増加しましたが、ブランド強化のための戦略的な費用投入により営業損失が増加しました。

医薬・バイオケミカル事業



売上高
1,651億円
前年対比 +2.2%

営業利益
284億円
前年対比 +5.9%

国内・海外ともに医薬品の販売が堅調に推移

医薬品事業では、国内で、花粉飛散量の増加により協和発酵キリン社の抗アレルギー点眼剤「パタノール」の販売が好調に推移しました。海外でもプロストララン社の主力製品の販売が順調に伸びました。また、協和キリン富士フィルムバイオロジクス株式会社からの技術収入は前年より減少したものの、医薬品の輸出は堅調に推移し、売上高は前年を上回りました。

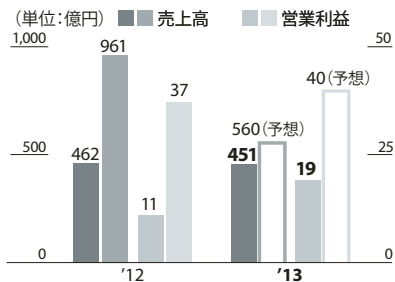
研究開発においては、がん領域で持続型G-CSF製剤KRN125のがん化学療法による発熱性好中球減少症を対象とした承認申請を6

月に行い、中枢神経系領域では、3月にパーキンソン病治療剤「ノリアスト」の承認を取得し、5月に発売しました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ社の医薬用アミノ酸・核酸関連物質や医薬原薬などの販売が堅調に推移し、さらに海外の売上も円安の影響を受け、売上高は前年を上回りました。

これらの結果、医療・バイオケミカル事業は売上高、営業利益とも増加しました。

その他事業



売上高
451億円
前年対比 △2.3%

営業利益
19億円
前年対比 +65.1%

売上高減少も、コスト減により増益

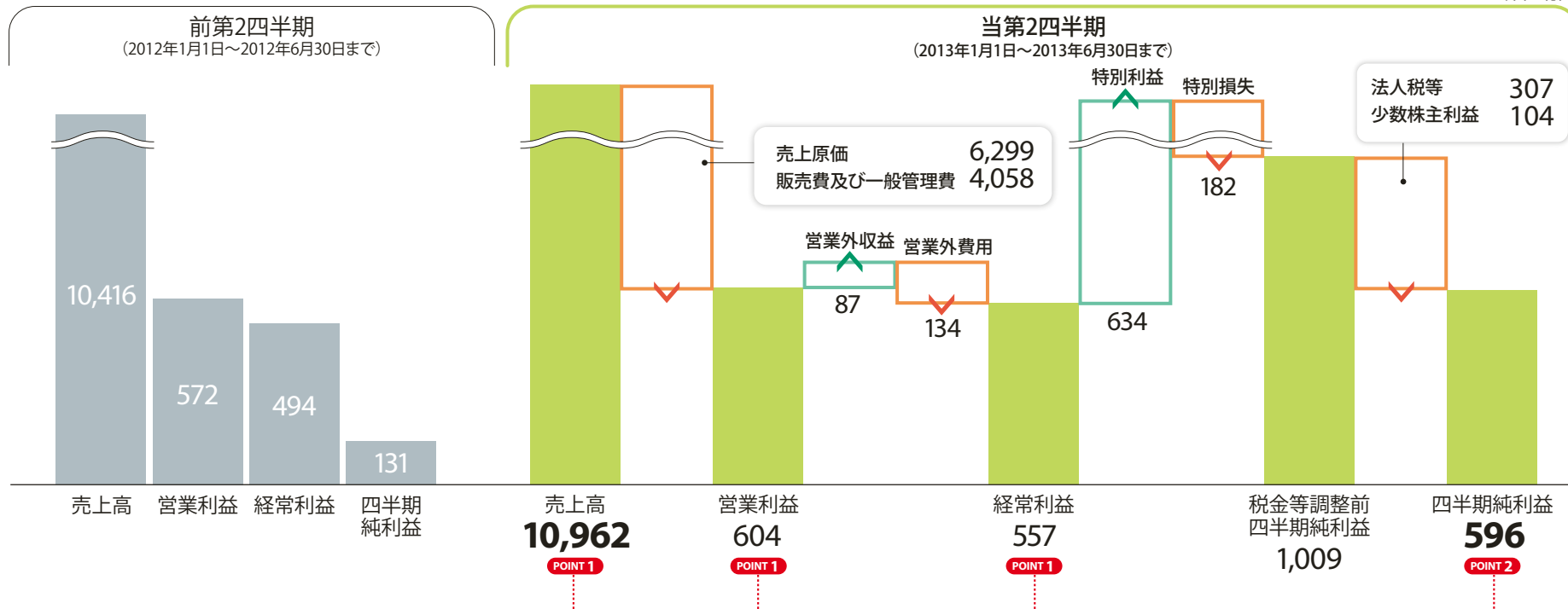
キリン協和フーズ社においては、天然調味料・醸造調味料などの主力商品の売上低迷により売上高が減少し、海外市場における核酸系うまみ調味料の市況軟化や円安による仕入・原材料コストの上昇により営業利益も減少しました。

その他事業全体としては、売上高は減少したものの、費用の減少などにより営業利益が増加しました。

なお、当社は、キリン協和フーズ社の全株式を三菱商事株式会社に譲渡する株式譲渡契約を2013年3月に締結しました。

■ 連結損益計算書の概要

(単位:億円)



(単位:億円)

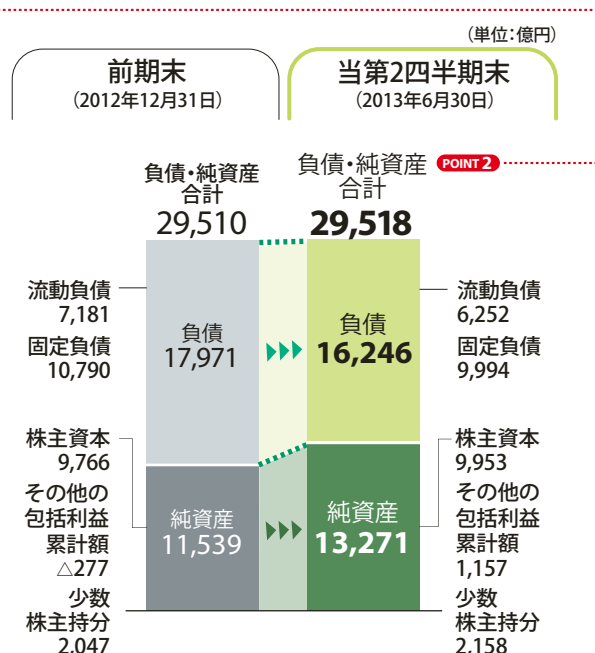
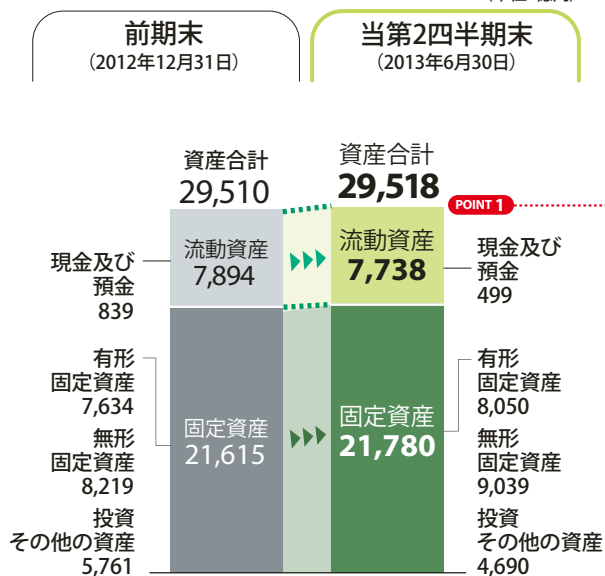
前期 (2012年1月1日~2012年12月31日まで)	
売上高	21,861
営業利益	1,530
経常利益	1,384
当期純利益	561

POINT 1 売上高・営業利益・経常利益
主に海外総合飲料事業と医薬事業の販売伸張により増加しました。

POINT 2 四半期純利益
フレイザー・アンド・ニュー社の株式譲渡によって投資有価証券売却益を計上したことなどにより大幅に増加しました。

連結貸借対照表の概要

(単位:億円)



POINT 1 資産

フレイザー・アンド・ニーヴ社株式売却等により投資有価証券が減少したものの、在外子会社の為替影響による有形固定資産及び無形固定資産の増加等により、7億円増加しました。

POINT 2 負債・純資産

有利子負債の減少等により負債が1,724億円減少し、為替変動による為替換算調整勘定の増加等により純資産が1,732億円増加しました。

POINT キャッシュ・フロー

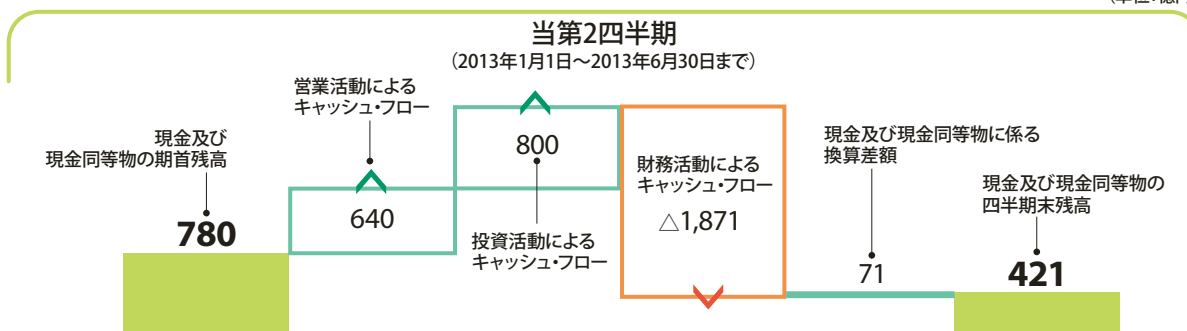
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が増加しましたが、投資有価証券売却益や法人税等の支払額の増加などの減少要因により、640億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券及び投資有価証券の売却により、800億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還、コマーシャルペーパーの減少、自己株式の取得等により、1,871億円の支出となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

POINT

(単位:億円)



■ 会社概要 (2013年6月30日現在)

商号	キリンホールディングス株式会社
設立	1907年(明治40年)2月23日 ※ 2007年7月1日純粋持株会社化に伴い、「麒麟麦酒株式会社」より商号変更
資本金	102,045,793,357円
従業員数	61人(キリンホールディングス連結従業員数:41,388人)
本社所在地	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番2号 中野セントラルパークサウス
売上高	2,186,177百万円(2012年12月期キリンホールディングス連結業績)
主な事業	グループの経営戦略策定及び経営管理

■ 役員 (2013年6月30日現在)

代表取締役社長	三宅 占二	常勤監査役	鈴木 一喜
代表取締役常務取締役	小林 弘武	常勤監査役	百武 直樹
代表取締役常務取締役	中島 肇	社外監査役	手塚 一男
常務取締役	鈴木 徹	社外監査役	大根田 伸行
取締役	鈴木 政士	社外監査役	岩田 喜美枝
取締役	西村 慶介		
社外取締役	三木 繁光		
社外取締役	有馬 利男		

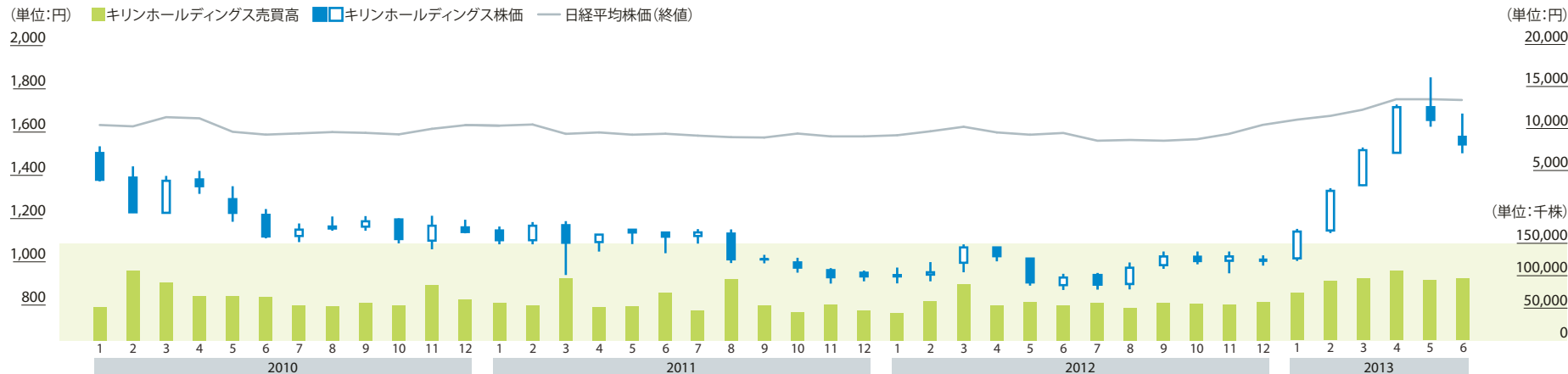
■ グループ会社一覧 (2013年7月1日現在)



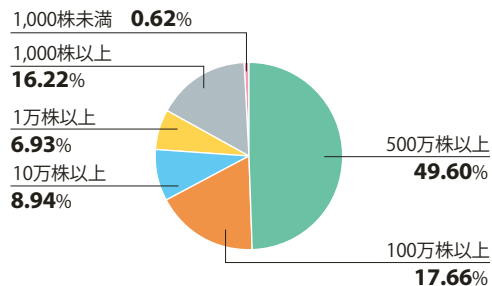
※1 機能分担会社 ※2 持分法適用会社

株式データ (2013年6月30日現在)

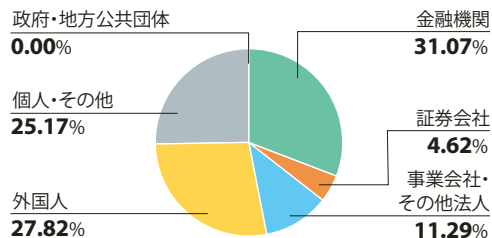
日経平均株価・株価・売買高の推移 (東京証券取引所)



所有株数別分布状況



所有者別分布状況



発行済株式総数 **965,000,000株**

株主数 **126,179名**

大株主 (千株未満を切り捨て、小数点以下第3位を切り捨て)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	50,092	5.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	41,042	4.25
明治安田生命保険相互会社	35,046	3.63
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	23,554	2.44
株式会社磯野商会	23,272	2.41
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	20,751	2.15
株式会社三菱東京UFJ銀行	19,251	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	16,893	1.75
野村證券株式会社自己振替口	11,120	1.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	9,743	1.00

株様ご優待について

1年に1回、12月末時点において単元株(1,000株)以上を保有する株様にキリングroup商品等のご優待品をお贈りしています。詳細につきましては、キリンホールディングスのホームページ(www.kirinholdings.co.jp)、もしくは、毎年3月初旬に対象の株主様宛に送付される「定時株主総会招集ご通知」に同封されています優待申込書をご確認ください。

株式に関するお手続きについて

1. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711 (平日9:00-17:00)
<ul style="list-style-type: none"> ● 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711 (平日9:00-17:00) 手続き用紙のご請求方法 音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	

※ 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
株主確定日	定時株主総会・期末配当金12月31日 中間配当金6月30日
定時株主総会	3月下旬開催
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711 (平日9:00-17:00)
公告の方法	電子公告により行います。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.kirinholdings.co.jp/
証券コード	2503